

簡単設置
URL 短縮プログラム
SUMP

(Short Url Make Program)
Ver.2.4

取扱説明書

簡易サイトマップ作成機能装備

著作権について

URL短縮プログラムSUMP(以下SUMP)は、著作権法で保護されている著作物です。

SUMPの使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

- 本プログラムの著作権は興梠卓也(以下、作者)にあります。
- 作者の書面による事前許可無く、SUMPの一部または全部をあらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファイルなど）により、複製、流用および転売（オークション含む）することを禁じます。

使用許諾契約書

本契約は、SUMPを購入した個人・法人（以下、甲と称す）と作者（以下、乙と称す）との間で合意した契約です。

SUMPを甲が受け取り、SUMPを開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的

乙が著作権を有するSUMPに含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項

SUMPに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲はSUMPから得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。

特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。

甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみSUMPを使用できるものとします。

第3条 契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第4条 損害賠償

甲が本契約の第2条に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、その違約金として、違約件数と販売価格を乗じたものの10倍の金額を支払うものとします。

第5条 プログラムの改変

甲は、SUMPを改変して使用することができます。
但し、改変したプログラムは、甲の自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ使用できるものとします。

1.本プログラムについて

本プログラムSUMP(以下、SUMPと称します)の名前は、Short Url Make Programの頭文字の略称です。英語では、「穴」という意味を持っています。

短縮URLを使用することは、インターネット上でのビジネスの穴場であることから名付けました。

SUMPIは、CGIの実行が可能なサーバー(Perl 5以上)であれば動作します。サーバーのOSは問いません。

また、CGIは外部のライブラリを一切使用していませんので、レンタルサーバーなどでCGIによる書き込みを禁止していない限りは動作します。

Linux及びWindows、レンタルサーバー([ロリポップ・さくらサーバー](#))で動作を確認しております。

SUMPIは、他のサーバー(アフィリエイトリンクなど)の長いURLをあなたのドメイン名を使用して短縮します。

設置方法は後述しますが、サーバーに1つのディレクトリ(フォルダ)を作成し、本プログラム群であるcgiを3つアップロードするだけで使用できます。

例えば、下記のようなURL①があったとします。

① <http://www.aaa.co.jp/click.php?aid=12345&iid=5678>

あなたの所有するドメイン②が、

② <http://xxx.jp>

とすると、SUMPを実行して生成された短縮URL③は、

③ <http://xxx.jp/tiny/0>

という様に生成されます。

この生成された短縮URL③にアクセスすると自動で①のURLへ誘導されます。短縮することで、あたかも①のURLがあなたのサーバーで運用されているURLであるかのように表示することが可能です。

HTMLのフレームやインラインフレームを利用すると、最終的に表示されるURLそのものも隠すことができます。

一般に、アフィリエイトを行っている方は、無料のURL短縮サービスを利用されていることが多いのですが、実際に使用するとお分かりになると思いますが、短縮したURLを一切管理することができません。

また、無料サービスの「<http://tinyurl.com>」などのサービスを利用すると、知名度が高いこともあり、直ぐにアフィリエイトリンクであることが露見してしまいます。

更に、一番怖いことは、短縮URLのリンクが切れてしまっても、あなたにはアクセスしてみるまでは一切分からないという点です。

そして、無料の短縮URLサービスで、アフィリエイトが正常に反映されない場合があるという問題も報告されています。

サービスによっては、半年ほどでリンクが切れてしまうサービスもありますので定期的に登録を行う必要があり、このアドレスをメルマガやホームページで使用されている方は、定期的に書き換える必要もあります。

しかし、SUMPを使用することで、あなたがドメインを維持し続ける限り無期限にリンク切れの心配の無い短縮URLを使用することができます。

短縮URLを利用する最大のメリットは、クリック率が確実に向上する点でしょう。

一見、長くて短くてもクリック率は変わらないように思われますが、実際に使用されてみると、明らかにクリック率が変わることが実感できると思います。

これは、人間心理に起因することですので一概に言えることではないのですが、効果があることは間違いのないようです。

2.設置手順

①短縮用ディレクトリ(フォルダ)の作成

サーバーにFTPソフト(FFFTPなどが使いやすいと思います)で接続し、短縮用のデータが作成されるディレクトリ(フォルダ)を1つ作成します。

FFFTPは以下のURLから入手可能です。

<http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/ffftp.html>

例えば、HTMLを置くディレクトリ(フォルダ)は、一般的に、

Linuxの場合、`/var/www/html`

Windowsの場合、`c:\¥inetpub¥wwwroot`

が使用されます。

ちなみに、

ロリポップレンタルサーバーの場合、

[/home/sites/lolipop.jp/users/<ドメイン>-<アカウント>/web/](#)

さくらレンタルサーバーの場合、

[/home/アカウント名/www/](#)

エックスサーバーの場合

[<ドメイン>/public_html/](#)

となります。

「ドメイン」「アカウント」「アカウント名」はお使いのレンタルサーバー契約時にメールまたは封書などで送られてきていると思いますので、そちらでご確認ください。

確認方法

ロリポップレンタルサーバー

[ユーザー専用ページ]→[アカウント情報]を選択

ドメインプラン	サブドメイン プラン
ディスク容量	200 MB
サイトアドレス	http://sample.aaa.jp
メールアドレス	sample@ke.aaa.jp
サーバー番号	sv001
FTPサーバー	ftp001.lolipop.jp
FTPアカウント	aaa.jp-sample
FTPパスワード*	abcde
メールサーバー	mail001.lolipop.jp
メールアカウント	aaa.jp-leap
メールパスワード	abcde
フルパス	/home/sites/lolipop.jp/users/aaa-sample/web

</home/sites/lolipop.jp/users/<ドメイン>-<アカウント>/web/tiny>

という形になりますが、上記の例の場合

</home/sites/lolipop.jp/users/aaa-sample/web/>

となります。

さくらレンタルサーバー

http://support.sakura.ad.jp/support/manual/rs/tech_server.shtml

このHELPを開くと画面中央あたりに、以下のように表示されます。

ユーザディレクトリ情報

ホームディレクトリ	/home/アカウント名/
ウェブ公開ディレクトリ	/home/アカウント名/www/
メール関連ディレクトリ	/home/アカウント名/Maildir/
アクセスログ保存ディレクトリ	/home/アカウント名/log/
さくらのブログ画像保存ディレクトリ	/home/アカウント名/sblo_files/

上記の例の場合、ウェブ公開ディレクトリが“</home/アカウント名/www/>”と
なっていますので、アカウント名を“sample”とした場合

</home/sample/www/>

となります。

その他のレンタルサーバーでも同様に、「ウェブ公開ディレクトリ」もしくは「フルパス」と表現されている項目の値を適宜読替えて設定します。

このディレクトリ(フォルダ)に、「tiny」という名前でディレクトリ(フォルダ)を作成します。この名前は、自由に設定できます。

以後、「tiny」というディレクトリ(フォルダ)を作成したという前提で説明します。ご自分でディレクトリ名を決めた場合は、適宜そのディレクトリ名に読み替えてください。

但し、この名前は短縮時に使用しますので、あまり長い名前はお勧めしません。1文字～6文字位の間で名前を付けてください。

このディレクトリ(フォルダ)に全てのファイルをアップロードします。

そして、このディレクトリ(フォルダ)のアクセス権(パーミッション)を755に設定します。

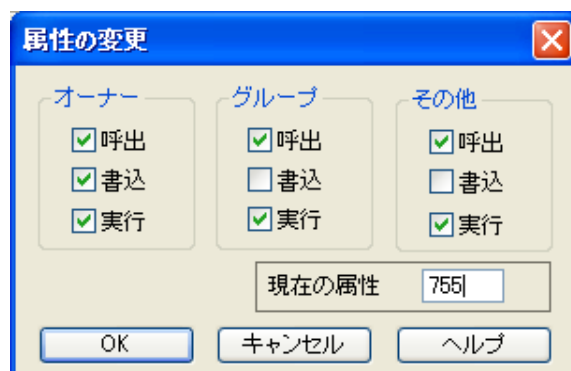
以下の例は、FFFTP での設定例です。

●フォルダの作成

[コマンド]→[フォルダの作成]→<フォルダの名前入力>→[OK]

●作成したフォルダの属性変更

[作成済のフォルダをクリック]→[コマンド]→[属性変更]



[OK]ボタンをクリックして設定を保存します。

②CGIの設置

設定が完了したら、サーバーにCGIをアップロードします。

アップロード場所は、先ほど「tiny」ディレクトリ(フォルダ)を設置した場所と同じ場所にアップロードしてください。

ロリポップレンタルサーバーの場合

</home/sites/lolipop.jp/users/<ドメイン>-<アカウント>/web/tiny>

さくらレンタルサーバーの場合

</home/アカウント名/www/tiny>

エックスサーバーの場合

[<ドメイン>/public_html/tiny](/<ドメイン>/public_html/tiny)

となります。最後の「tiny」を別の名前にした場合は読替えてください。

以下の8つのファイルをサーバーにアップロードします。

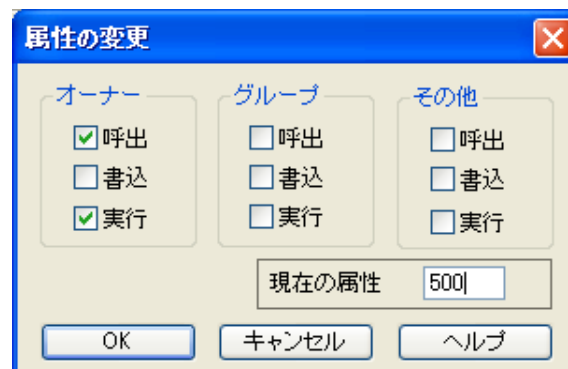
- | | |
|--------------------|-------------------|
| (1) tiny.cgi | URL短縮プログラム本体(公開用) |
| (2) tiny5.cgi | URL短縮プログラム本体(管理用) |
| (3) tinyedit.cgi | 短縮URL管理プログラム |
| (4) tinylib.cgi | 共通ライブラリ |
| (5) tiny_setup.cgi | SUMP設定プログラム |
| (6) smap_make.cgi | サイトマップ作成プログラム |
| (7) jcode.pl | 日本語処理外部ライブラリ |
| (8) scripts.js | JavaScriptファイル |

アップロード後、

(1) tiny.cgi (2) tiny5.cgi (3) tinyedit.cgi (5) tiny_setup.cgi (6) smap_make.cgi
のアクセス権(パーミッション)を500に設定します。

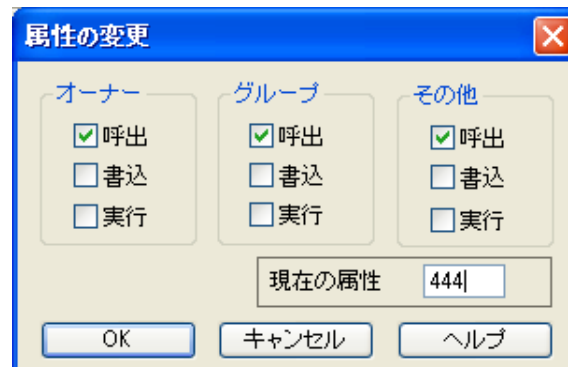
●作成したフォルダの属性変更

[アップロード済のファイルをクリック]→[コマンド]→[属性変更]



[OK]ボタンをクリックして設定を保存します。

(4) tinylib.cgi (7) jcode.pl (8) scripts.jsの
アクセス権(パーミッション)を444に設定します。



以上で設置は完了です。

③CGIの変更

SUMP動作環境の設定

あなたのサーバーの環境に合わせて、CGI動作に必要な情報を定義します。
ここで設定する内容は、SUMPを設置運用する上で重要な項目ですので、1つずつ間違えないように注意して設定してください。

●tynypara.cgiの変更内容(SUMP動作に必要な設定)

- (1)サーバーのPerlパス
- (2)db設置場所
- (3)短縮作成場所
- (4)短縮時のドメイン
- (5)index.cgi 参照ライブラリパス
- (6)tinyedit.cgi パスワード
- (7)除外IP
- (8)アクセスIPをホスト名に置換
- (9)tiny.cgiに対するアクセス制限
- (10)tinyedit.cgiに対するアクセス制限
- (11)除外Agent
- (12)アクセスログの表示件数
- (13)基本ブラウザ判定
- (14)集計するブラウザ
- (15)エージェント及びHTTPリファラー
- (16) HTTPリファラーのパラメータの表示

まず、ブラウザを起動して、設置したサーバーにアクセスします。

例えば、あなたのサーバーに「tiny」というフォルダを作成してSUMPを設置した場合、

http://www.abc.jp/tiny/tiny_setup.cgi

と入力して、設定プログラムを起動します。

起動すると、以下のような画面が表示されます。

SUMPセットアップ

設定を保存する

SUMP基本設定

(1)～(5)の項目は一度設定すると変更できませんのでご注意ください。

(1)サーバーのPerlパス

各プロバイダで指定されているPerlのパスを記述します。設定初期値はLinuxの一般的なパスを設定しています。この設定が異なる場合は、tiny.cgi tinyedit.cgiの先頭行も変更してください。Windowsの場合は変更の必要はありません。

\$perl_pass /usr/bin/perl

(2)db設置場所

各プロバイダで指定されているWEBフォルダの絶対パスに続けて、短縮ディレクトリを作成するディレクトリを指定します。設定初期値はLinuxの一般的なパスを設定しています。

\$db_dir /var/www/html/tiny

(3)短縮作成場所

各プロバイダで指定されているWEBフォルダの絶対パスに続けて、短縮ディレクトリを作成するディレクトリを指定します。基本的に(2)と同じ値を設定します。

\$tiny_dir /var/www/html/tiny

初期値が設定されていますので、適宜変更します。

項目(1)から順に説明します。

(1)サーバーのPerlパス

各プロバイダで指定されているPerlのパスを記述します。設定初期値はLinuxの一般的なパスを設定しています。この設定が異なる場合は、tiny.cgi tinyedit.cgiの先頭行も変更してください。Windowsの場合は変更の必要はありません。

\$perl_pass /usr/bin/perl

サーバーで実行されるPerlのパスを設定します。

初期値は「/usr/bin/perl」になっていますが、ご契約のサーバーのQ & Aなどでパスを確認して書き換えてください。

確認方法

ロリポップレンタルサーバー 上記の設定で構いません。

<http://lolipop.jp/?mode=manual&state=hp&state2=cgi>

このHELPを開くと以下のように表示されます。

PERLのパス

/usr/local/bin/perl もしくは /usr/bin/perl どちらでも利用可。

⚠ アカウントメール(サーバーによってはセットアップ完了メール)をご確認下さい。

さくらレンタルサーバー

上記の設定で構いません。

- 1.[会員メニュー]→[契約情報]を選択
- 2.[契約情報]→[サーバー設定]を選択
- 3.[サーバー情報の表示]→[サーバーに関する情報]を選択

* 各種コマンドパス一覧 *

コマンド名	コマンドパス	バージョン
Perl 5.8	/usr/bin/perl	5.8.8
Perl 5	/usr/bin/perl5	5.8.8

ほとんどの場合(特に UNIX/Linux 系)、この設定は同じです。

(2)db設置場所

各プロバイダで指定されているWEBフォルダの絶対パスに続けて、短縮ディレクトリを作成するディレクトリを指定します。設定初期値はLinuxの一般的なパスを設定しています。

\$db_dir /var/www/html/tiny

短縮されたURLの一覧のデータを格納する場所のパスを指定します。

ロリポップレンタルサーバーの場合

/home/sites/lolipop.jp/users/<ドメイン>-<アカウント>/web/tiny

さくらレンタルサーバーの場合

/home/アカウント名/www/tiny

エックスサーバーの場合

<ドメイン>/public_html/tiny

となります。

最後の「tiny」を別の名前にした場合は書き換えてください。

(3)短縮作成場所

各プロバイダで指定されているWEBフォルダの絶対パスに続けて、短縮ディレクトリを作成するディレクトリを指定します。基本的に(2)と同じ値を設定します。

\$tiny_dir /var/www/html/tiny

この設定は、基本的に(2)と同じになります。

同じ値を設定したい場合は、「\$db_dir」と入力してください。

(2)に設定した通りに記述しても構いません。

(4)短縮時のドメイン

URLを短縮した際に使用するドメインを指定します。〈〜〉の部分あなたのドメインに変更します。

\$domain http://〈あなたのドメイン〉/tiny

実際に使用する短縮名の基本となります。

〈あなたのドメイン〉の部分、あなたがお使いのドメイン名「www.abc.jp」などに書き換えます。

最後の「tiny」を別の名前にした場合は書き換えてください。

仮に、あなたのホームページのドメイン名が「www.abc.jp」であれば、

<http://www.abc.jp/tiny> となります。

最後の「tiny」を別の名前にした場合は書き換えてください。

(5)index.cgi 参照ライブラリパス

各短縮ディレクトリ内に生成されるindex.cgiから参照されるライブラリの絶対パスを指定します。
このファイル(tinylib.cgi)が存在するディレクトリの絶対パスになります。

\$indlib /var/www/html/tiny

各cgiで使用する共通のライブラリの設置場所を絶対パスで指定します。

今書き換えているtinypara.cgiと同じ場所のパスを設定します。

短縮されたURLの一覧のデータを格納する場所のパスを指定します。

基本的に(2)と同じで構いません。

ロリポップレンタルサーバーの場合

</home/sites/lolipop.jp/users/〈ドメイン〉-〈アカウント〉/web/tiny>

さくらレンタルサーバーの場合

</home/アカウント名/www/tiny>

エックスサーバーの場合

〈ドメイン〉/public_html/tiny

となります。

最後の「tiny」を別の名前にした場合は書き換えてください。

(6)tinyedit.cgi パスワード

tinyedit.cgiを実行する際に確認するパスワード

\$usr_pass password

設定した短縮URLの管理プログラム(tinyedit.cgi)を起動する際に使用するパスワードです。

文字数に制限はありません。初期値は「password」になっていますので、適宜変更してください。

(7)除外IP

index.cgi実行時に記録から除外するIP。複数ある場合は、(カンマ)で区切って指定してください。

例: 192.168.1.1,192.168.1.2

@reject_ip

生成した、短縮URLを確認する際に、作成者本人が確認した際でもアクセス回数やログが残ってしまいます。

しかし、自分でアクセスした回数やログを残したくない場合に設定します。

例えば、短縮URLを登録した際に表示されている「登録IP」が“192.168.1.10”だったとすると、

@reject_ip 192.168.1.10

という様に設定すると、192.168.1.10からのアクセスは記録されません。

複数のIPからのアクセスを記録したくない場合は、カンマ(,)で区切って複数指定することができます。

基本的に登録件数に制限はありませんが、インターネットエクスプローラーからは、サーバーに送信できる文字数に制限がありますのでご注意ください。

多くのIPを登録する場合は、後述の環境を直接編集する場合の項を参照してください。

但し、あまり多くのIPを設定すると、チェックに時間が掛かり反応が悪くなりますのでご注意ください。

複数ある場合は、

@reject_ip 192.168.1.10,192.168.1.11,192.168.1.12

という様に記述します。

(8)アクセスIPをホスト名に置換

アクセス元のIPをホスト名に置換します。

0 置換しない 1 置換する

\$ch_host 置換する ▼

取得した、アクセス元の IP アドレスをホスト名に置換します。

但し、アクセス元がホスト名を返さない場合は IP アドレスのままになります。

変換したくない場合は、

「置換しない」に設定してください。

(9)tiny.cgiに対するアクセス制限

指定したIP以外のアクセスを禁止します。複数ある場合は、1つずつ(カンマ)で区切って指定してください。

例: 192.168.1.1,192.168.1.2

@permit1

指定した、IPアドレス以外から、tiny.cgiにアクセスすることを禁止します。

つまり、指定したIPからのみアクセスができることを意味します。

固定IPアドレスをお持ちの場合のみ設定可能です。

基本的に登録件数に制限はありませんが、インターネットエクスプローラーからは、サーバーに送信できる文字数に制限がありますのでご注意ください。

多くのIPを登録する場合は、後述の環境を直接編集する場合の項を参照してください。

ダイアルアップ接続・PPP接続などで、接続毎にIPアドレスが変更になる接続の場合は使用できません。ブランクのままご使用ください。

また、固定IPでルーターをご使用の場合は、ルーターのIPアドレスを設定してください。確認の方法は、ルーターの説明書をご覧ください。

複数の場所からアクセスする場合は、カンマで区切ってIPアドレスを記述してください。

@ permit1 192.168.1.10,192.168.1.11,192.168.1.12

という様に記述します。

(10)tinyedit.cgiに対するアクセス制限

指定したIP以外のアクセスを禁止します
複数ある場合は、1つずつ(カンマ)で区切って指定してください
例: 192.168.1.1,192.168.1.2

@permit2	
----------	--

指定した、IPアドレス以外から、tinyedit.cgiにアクセスすることを禁止します。
つまり、指定したIPからのみアクセスができることを意味します。

固定IPアドレスをお持ちの場合のみ設定可能です。

基本的に登録件数に制限はありませんが、インターネットエクスプローラーからは、サーバーに送信できる文字数に制限がありますのでご注意ください。
多くのIPを登録する場合は、後述の環境を直接編集する場合の項を参照してください。

ダイアルアップ接続・PPP接続などで、接続毎にIPアドレスが変更になる接続の場合は使用できません。ブランクのままご使用ください。

また、固定IPでルーターをご使用の場合は、ルーターのIPアドレスを設定してください。確認の方法は、ルーターの説明書をご覧ください。

複数の場所からアクセスする場合は、カンマで区切ってIPアドレスを記述してください。

@ permit2 192.168.1.10,192.168.1.11,192.168.1.12

(9)(10)を両方設定すると、SUMP(短縮作成・管理)は外部からは一切使用できなくなります。

短縮URL作成画面は公開したい場合は、(9)の設定は、空白のままで運用してください。

(11)除外Agent

index.cgi実行時に記録から除外するAgent、Botなどのアクセス記録を除外することができます。
複数ある場合は、1つずつ(カンマ)で区切って指定してください。
例: Googlebot/,Yeti/,psbot/,Baiduspider+,Yahoo! Slurp,CamelStampede,msnbot
特徴的な部分のみ指定することもできます

@reject_agt	Googlebot/,Yeti/,psbot/,Baiduspider+,Yahoo! Slurp,CamelStampede,msnbot
-------------	--

@reject_agt

Googlebot/,Yeti/,psbot/,Baiduspider+,Yahoo! Slurp,msnbot

index.cgi実行時に、アクセスしてきた相手がボット(サーチエンジン)の場合に、設定されたボットのアクセス記録を残さないように設定可能です。

初期設定では、6つのボットを記録しないようにしていますが、ボットの記録も必要な場合は設定を空白にしてください。

基本的に登録件数に制限はありませんが、インターネットエクスプローラーからは、サーバーに送信できる文字数に制限がありますのでご注意ください。
多くのIPを登録する場合は、後述の環境を直接編集する場合の項を参照してください。

複数のボットを指定する場合は、カンマで区切って記述してください。

また、適切なエージェント名を設定すれば、IEのアクセスだけを記録しないなどの応用も可能です。

予め、以下のボットは設定済みです。

Googlebot/	Google Bot
Yeti/	韓国NAVERのBot
psbot/	http://www.picsearch.com
Baiduspider+	百度
Yahoo! Slurp	Yahoo Bot
msnbot	MSN Bot

(12)アクセスログの表示件数

詳細ログを表示する際の最大表示件数、0を指定すると全件表示。

\$view_c 100件

詳細ログを表示した時に表示されるログの件数を設定します。

0を設定すると全てのログが表示されます。

(13)基本ブラウザ判定

エージェント別に集計する際の基本となるブラウザ(コンパチブルの判定)の設定
InternetExplorerとのコンパチブルを判定します。

例: MSIE 5,MSIE 6.0,MSIE 7.0

@iecomp MSIE 5,MSIE 6.0,MSIE 7.0

アクセス数を集計する際、アクセスエージェントを集計する前段階として、インターネットエクスプローラーとの互換性を判定します。

基本的に登録件数に制限はありませんが、インターネットエクスプローラーからは、サーバーに送信できる文字数に制限がありますのでご注意ください。
多くのIPを登録する場合は、後述の環境を直接編集する場合の項を参照してください。

複数のブラウザを指定する場合は、カンマで区切って記述してください。

@iecomp MSIE 5,MSIE 6.0,MSIE 7.0

(14)集計するブラウザ

設定されたブラウザ名で集計します。InternetExplorerは設定する必要はありません。

例: Sleipnir/2,Opera,NetFront,Safari,Firefox/2,Netscape,SeaMonkey,BonEcho,lolifox,Minefield,Iceweasel,Python-url-lib,Wget,WordPress,Gecko,UP.Browser/6,DoCoMo/1,DoCoMo/2,jig browser,PLAYSTATION 3,PlayStation Portable

@browser ython-url-lib,Wget,WordPress,Gecko,UP.Browser/6,DoCoMo/1,DoCoMo/2,jig browser,PLAYSTATION 3,PlayStation Portable

(13)で互換性を判定後、様々なブラウザを判定後、ブラウザ毎に集計します。基本的に登録件数に制限はありませんが、インターネットエクスプローラーからは、サーバーに送信できる文字数に制限がありますのでご注意ください。多くのIPを登録する場合は、後述の環境を直接編集する場合の項を参照してください。

複数のブラウザを指定する場合は、カンマで区切って記述してください。

@browser Sleipnir/2,Opera,NetFront,...

(15)ログの表示内容、エージェント及びHTTPリファラー

明細に表示する項目を指定します。

0:エージェント 1:リファラー(リンク元) 2:両方表示

\$agent リファラーのみ

(16)HTTPリファラーのパラメータの表示

?以降のCGI等のパラメータの表示方法を指定します。

0:表示する 1:表示しない

\$v_para 表示しない

アクセスログの表示に関する設定です。

アクセスログには、ブラウザエージェントとリファラー(短縮URLのアクセス元)を記録しています。

表示する内容を選択できます。

“エージェントのみ”、“リファラーのみ”、“両方を表示”から選択します。

また、短縮URLをリードメールなどで使用する場合は、リファラーに複数のパラメータが付随して記録されます。

パラメータの表示が必要ない場合は、“表示しない”を選択します。

次に、サイトマップに関する設定を行います。

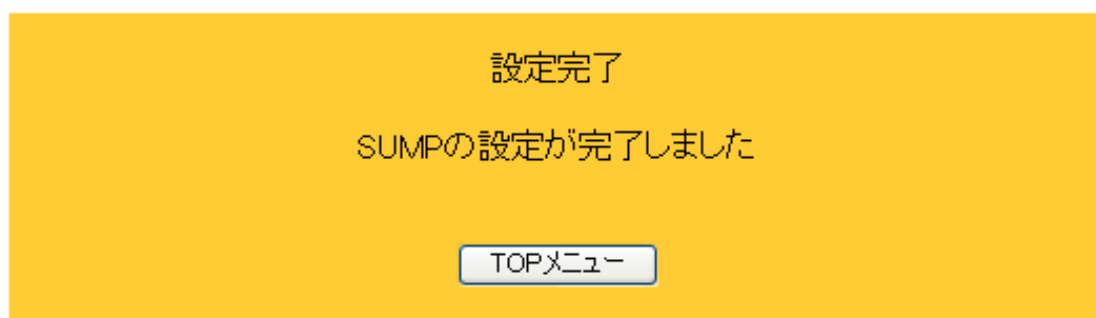
サイトマップ作成機能を使用しない場合は、「サイトマップ作成機能の設定」は設定する必要はありません。

使用しない場合は、(1)～(16)の設定が完了したら、[設定を保存する]ボタンをクリックして保存してください。設定した内容を登録します。

ボタンをクリックすると、以下の確認が表示されますので、登録する場合は、[OK]ボタンをクリックしてください。



登録完了後以下の画面が表示されます。
[TOPメニュー]ボタンをクリックするとメイン画面が表示されます。



万が一、設定に失敗した場合は、**tinypara.cgi** を削除すれば、
最初から設定可能です。

サイトマップ作成機能の設定

あなたのサーバーの環境に合わせて、設定内容を変更します。

ここで設定する内容は、後述のサイトマップ作成機能を利用する上で必要な設定です。

サイトマップを使用しない方は、特に設定する必要はありません。

また、この機能はSEO対策で使用する機能ですので、SUMPの動作とは一切関連しません。

但し、SUMPが正常動作できる設定は完了している必要があります。

また、SUMP設置サーバー以外のサーバーのサイトマップを作成する機能はありません。

●smap_para.cgiの変更内容

- (1)GMTとの時差
- (2)サイトマップ作成URL
- (3)サイトマップサーチディレクトリ
- (4)出力サイトマップ名
- (5)検索ファイル名
- (6)検索拡張子

まず、「smap_para.cgi」をお持ちのテキストエディタ(Notepadで十分です)で開きます。

開くと、以下のようになっています。1つずつ順に説明します。

(1)GMT との時差

海外のサーバーに設置するときは、グリニッジ標準時とその地方の時差を設定します。

\$JST 9時間

サイトマップを作成するときに記録されている時間が、グリニッジ世界標準時との時差を持っている場合に設定する項目です。

海外のサーバーに設置する場合は、その国の時差を選択します。

日本に設置される場合は、日本の時差は9時間ですので、設定の変更は必要ありません。

(2) サイトマップ作成URL

サイトマップを作成するURL

\$smap_url http://<あなたのドメイン>

実際に使用する短縮名の基本となります。

<あなたのドメイン>の部分を、あなたがお使いのドメイン名「www.abc.jp」などに書き換えます。

仮に、あなたのホームページのドメイン名が「www.abc.jp」であれば、

<http://www.abc.jp/>となります。

最後の"/"(スラッシュ)を忘れずに記述してください。

(3) サイトマップサーチディレクトリ

サーバーのhtml格納場所

\$smap_dir /var/www/html

サイトマップを作成する際のWWWディレクトリのパスを指定します。

ロリポップレンタルサーバーの場合

[/home/sites/lolipop.jp/users/<ドメイン>-<アカウント>/web/](#)

さくらレンタルサーバーの場合

[/home/アカウント名/www/](#)

エックスサーバーの場合

[<ドメイン>/public_html/](#)

となります。

最後の"/"(スラッシュ)を忘れずに記述してください。

(4) 出力サイトマップ名

出力するサイトマップの名前

\$smap_name sitemap.xml

出力するサイトマップの名前を指定します。

このままで構いません。

(3) サイトマップサーチディレクトリで指定したディレクトリ直下に「smap」というフォルダが自動で生成されて、その中にサイトマップが格納されます。

(5)検索ファイル名

サイトマップを作成するファイル名(拡張子を除く)。複数ある場合は、1つずつ(カンマ)で区切って指定してください。

例: index,index2

指定しない場合は全てが検索対象となります。

@smap_file	index
------------	-------

サイトマップを作成する際に、対象となるファイル名の名前の部分のみを指定します。(htmlなどの拡張子を除く)

ファイル名は、一般的に xxxx.yyy という形式で記述されます。

xxxxの部分ファイルをファイル名、yyyの部分拡張子と呼びます。

サイトマップには、一般的に、index.htmなどのサイトのトップページを表示するファイルを記述します。

例えば、indexのみを指定する場合は、

@smap_file index

と記述し、indexとdefaultを指定するのであれば、

@smap_file index, default

と記述します。

全てのファイルをサイトマップに記述する場合は、何も指定しなくて構いません。

※ご注意

Windowsサーバーでは、大文字・小文字の区別はありませんが、一般的なUNIXやLinuxサーバーでは、大文字・小文字を区別します。

仮に、index と Index や INDEX の様に大文字・小文字が混在する場合は、

@smap_file index, Index, INDEX

のように全て記述する必要があります。

(6)検索拡張子

サイトマップを作成する拡張子(ファイル名を除く)。複数ある場合は、1つずつ(カンマ)で区切って指定してください。

例: htm,html,cgi

指定しない場合は全てが検索対象となります。

@smap_ext	htm,html,cgi
-----------	--------------

サイトマップを作成する際に、対象となる拡張子部分のみを指定します。

ファイル名は、一般的に xxxx.yyy という形式で記述されます。

xxxxの部分ファイルを、yyyの部分拡張子と呼びます。

拡張子を指定しないと、「gif」や「jpg」などhtmlなどから参照されるファイルでサイトマップには必要のないファイルまでリストアップされてしまいますので、必ず拡張子の設定を行ってください。

一般的に拡張子は、

htm	HTMLの拡張子	html	HTMLの拡張子
cgi	cgi、主にPerlプログラム	pl	Perlプログラム
php	PHPで作成されたプログラム		
asp	MSIISの標準プログラム	aspx	MSIISの.Netプログラム

のような種類がありますが、他にもdllやexeなどが利用される場合は記述する必要がある場合があります。

※ご注意

Windowsサーバーでは、大文字・小文字の区別はありませんが、一般的なUNIXやLinuxサーバーでは、大文字・小文字を区別します。

仮に、htm と HTM の様に大文字・小文字が混在する場合は、

@smap_ext htm,HTM

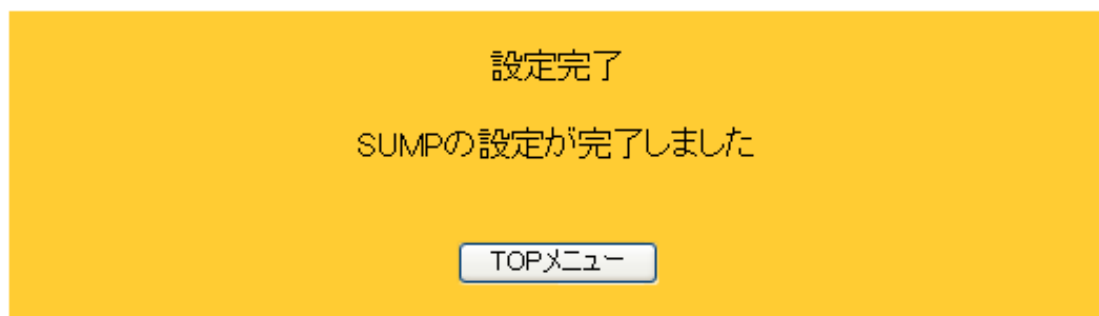
のように全て記述する必要があります。

(1)～(6)の設定が完了したら、[設定を保存する]ボタンをクリックして保存してください。設定した内容を登録します。

ボタンをクリックすると、以下の確認が表示されますので、登録する場合は、[OK]ボタンをクリックしてください。



登録完了後以下の画面が表示されます。
[TOPメニュー]ボタンをクリックするとメイン画面が表示されます。



3.使用方法

①URLの短縮

実行するプログラムは、「**tiny.cgi**」です。

先ほど設置したCGIを起動します。

ブラウザから、あなたのサーバーのURLに続けてCGIを指定します。

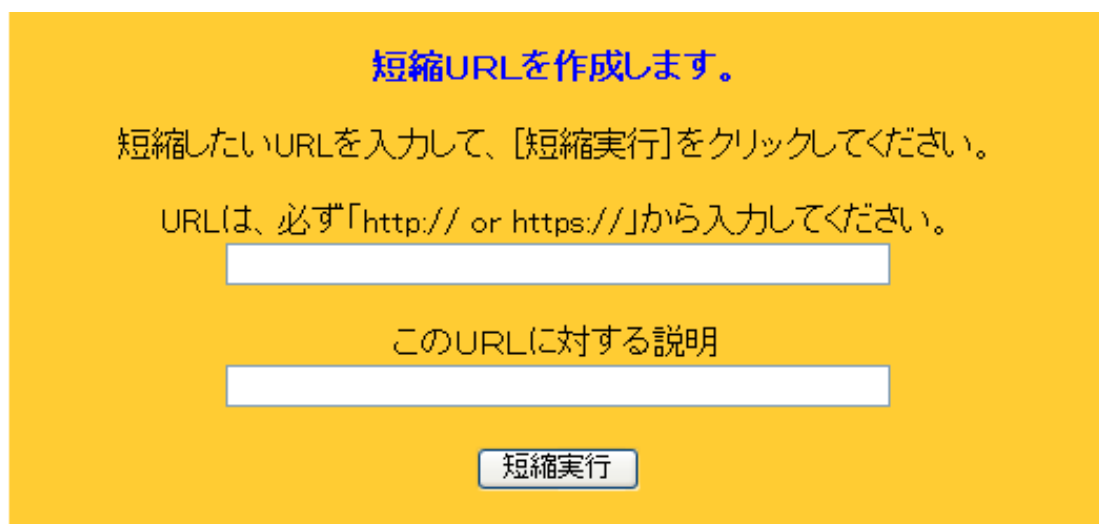
管理画面から呼び出される短縮プログラムは「**tiny5.cgi**」です。

このプログラムからは、5件まで同時に登録できます。後述します。

例えば、あなたのドメインが「http://www.abc.jp/」とすると、

<http://www.abc.jp/tiny/tiny.cgi>

と入力します。すると、以下のように表示されます。



短縮したいURLを「http://」または「https://」から全て入力します。

説明があればここで入力します。

コピーして貼り付けても構いません。

ここで入力したデータは後から変更できます。

入力が完了したら、【短縮実行】ボタンをクリックします。

短縮URLはグループ分け(00～99)で管理します。

短縮作成時は、後述のグループ番号「00：グループ未設定」として登録されています。このグループは、後から変更可能です。

短縮完了

以下のURLをコピーして使用してください。

`http://www.aaa.jp/tiny/a`

もう一度短縮を実行する

短縮が完了するとこのように表示されますので、表示されたURLをコピーしてください。

続けて別のURLを短縮する場合は、[もう一度短縮を実行する]ボタンをクリックすると入力画面に戻ります。

作成が完了すると、先ほど設置した「tiny」ディレクトリ(フォルダ)内に自動で、ディレクトリ(フォルダ)が生成されます。

この例の場合は、「a」というディレクトリ(フォルダ)が作成されます。

この「a」の中に生成されるデータは、以下の3つです。

- | | |
|---------------|------------------------|
| (1) index.cgi | URL誘導及びアクセスログ生成プログラム |
| (2) cont.db | アクセスカウンタ(初回アクセス時に自動生成) |
| (3) access.db | アクセスログ(初回アクセス時に自動生成) |

(1)は絶対に変更しないでください。正常なURL誘導ができなくなります。

(2)(3)は編集しても構いませんが、書式を崩さないでください。

また、この3つ以外のファイルをこのディレクトリ(フォルダ)内に残さないでください。

全てのサーバーで動作することを前提条件として作成していますので、Perlの外部ライブラリなどを一切使用せずに作成しました。

そのため、3つ以外のファイルが存在すると、必要なくなった短縮フォルダがプログラムから削除ができなくなります。

特に、(3) access.dbはCSV形式で保存されていますので、Excelなどから読み込んで独自に解析することが可能です。

②短縮URLの管理

実行するプログラムは、「tinyedit.cgi」です。

①で作成した短縮URLの管理を行います。

このプログラムで管理できる項目は、

- | | |
|---------------------|----------------|
| (1) 短縮グループの表示 | (7) カウンターのリセット |
| (2) グループ名の変更 | (8) カウンターの更新 |
| (3) 短縮URLの一覧表示 | (9) フレーム内表示の設定 |
| (4) 短縮URLの削除 | (10) 所属グループの変更 |
| (5) 短縮元のオリジナルURLの変更 | (11) サイトマップの作成 |
| (6) 短縮URLの説明の変更 | (12) SUMP設定 |

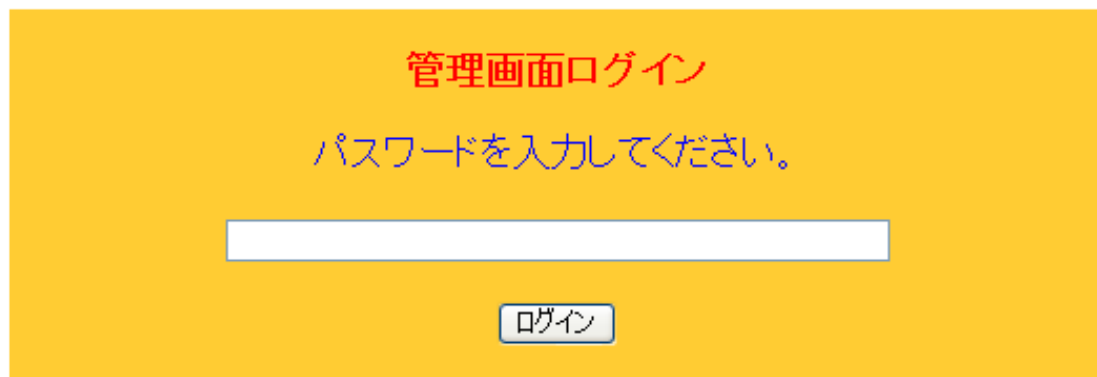
となっています。

ブラウザから、あなたのサーバーのURLに続けてCGIを指定します。

例えば、あなたのドメインが「<http://www.abc.jp/>」とすると、

<http://www.abc.jp/tiny/tinyedit.cgi>

と入力します。すると、以下のように表示されます。

A screenshot of a web form for logging into the management interface. The background is yellow. At the top, the text '管理画面ログイン' (Management Screen Login) is written in red. Below it, the instruction 'パスワードを入力してください。' (Please enter your password.) is written in blue. There is a white rectangular input field for the password. Below the input field is a button with the text 'ログイン' (Login) in black.

先ほど設定したパスワードを入力してログインします。

すると、グループ一覧画面が表示されます。

パスワードが一致しない限り、この画面が表示されます。

(1)短縮グループの表示

短縮グループ一覧(Ver.2.3)

URL: http://[REDACTED] (Access from: [REDACTED])

③ 全てを表示する

④ 00:グループ未設定 (0) ▼ 編集

⑤ 新規短縮URL登録

⑥ サイトマップ作成

アクセス数集計

No	⑤ グループ名	⑥ 件数	⑥ 累計	⑦ 昨日迄	⑦ 本日	
01	アフィリエイト1	11件	3,344回	1回	0回	⑧ 一覧表示
02	アフィリエイト2	2件	6,745回	2回	0回	⑧ 一覧表示
03	アフィリエイト3	4件	3,997回	3回	0回	⑧ 一覧表示
04	アフィリエイト4	5件	17,797回	117回	21回	⑧ 一覧表示
05	アフィリエイト一般	5件	9,394回	468回	73回	⑧ 一覧表示
06	バナー広告	2件	85回	0回	2回	⑧ 一覧表示
合計		29件	41,362回	591回	96回	

⑨ SUMPセットアップ

短縮URLをグループ毎に表示します。

グループ毎の登録件数・累計アクセス数・昨日までのアクセス数・本日のアクセス数及び、それぞれの合計が表示されます。

- ① 短縮URLを作成するフォルダのURLが表示されます。
- ② このCGIにアクセス中のPCのIPアドレスが表示されます。
- ③ [全てを表示する] ボタンをクリックすると、登録済みの短縮URL全ての一覧が表示されます。

00:グループ未設定 (0) ▼

編集

- ④ グループを選択して、[編集]ボタンをクリックすると、グループ名の編集が可能です。

- ⑤ 短縮URL作成画面を呼び出すことができます。別ウインドウが開きます。

短縮URLを作成します。

短縮したいURLを入力して、[短縮実行]をクリックしてください。

URLは、必ず「http:// or https://」から入力してください。

	グループ	短縮するURL	URL説明
1	00:グループ未設定 (0) ▼		
2	00:グループ未設定 (0) ▼		
3	00:グループ未設定 (0) ▼		
4	00:グループ未設定 (0) ▼		
5	00:グループ未設定 (0) ▼		

同時に5件までのURLを短縮できます。

設定する「グループ名」を選択して、「短縮するURL」と「URLの説明」を入力して[短縮実行]ボタンをクリックします。

「短縮するURL」が入力されていない場合、短縮は実行されません。

また、入力は1件～5件まで自由に入力できます。

URLが入力されたものだけ短縮を実行します。

- ⑥ SEO対策で使用するサイトマップの作成ができます。
サイトマップはW3C標準のフォーマットで作成されますので、
Google/Yahoo!/MSNで使用可能です。
(11)サイトマップの作成で説明します。
- ⑦ アクセスログを集計します。
- ⑧ グループ毎の【一覧表示】ボタンをクリックすると、そのグループに登録されている(3)短縮URLの一覧が表示されます。
- ⑨ SUMPの設定画面を開きます。

(2) グループ名の変更

短縮グループは、初期設定で00～99までの100グループが登録されています。
短縮URLを作成した場合は、00に登録されています。

グループは100固定です。追加・削除はできません。

(1)の短縮グループ一覧には、そのグループに属する短縮URLが無い場合は表示されません。

グループ名を変更する場合は、

00:グループ未設定 (0)

グループを選択して、[編集]ボタンをクリックします。

グループ名編集

No	
00	グループ未設定

○の部分を変更して、[更新]ボタンをクリックすると変更が保存されます。



クリックすると確認画面が表示されます。更新する場合は、[OK] ボタンをクリックします。

グループ一覧に戻る場合は、[一覧へ戻る]ボタンをクリックします。

(3) 短縮URLの一覧表示

登録済短縮URL一覧(Ver.2.3)
[04:アフィリエイト4]

グループ一覧へ戻る

登録日時	短縮前URL	短縮後URL	登録IP	累計	昨日迄	本日		
2008-04-01 14:11:48	http://leap.raindrop.jp/sump/it/	http://leap.raindrop.jp/t/1a URL短縮ツールSUMP1	219.120.125.206	11,023回	114回	29回	詳細	削除
2008-03-28 18:10:12	http://leap.raindrop.jp/sump/is/	http://leap.raindrop.jp/t/16 URL短縮ツールSUMP2	219.120.125.206	2回	0回	0回	詳細	削除
2008-03-28 11:51:07	http://leap.raindrop.jp/sump/iu/	http://leap.raindrop.jp/t/15 URL短縮ツールSUMP3	219.120.125.206	6,701回	0回	0回	詳細	削除
2008-03-24 16:52:47	http://leap.raindrop.jp/sump/iv/	http://leap.raindrop.jp/t/e URL短縮ツールSUMP4	219.120.125.206	回	回	回	詳細	削除
2008-03-24 16:42:49	http://leap.raindrop.jp/sump/iv/	http://leap.raindrop.jp/t/c URL短縮ツールSUMP5(F)	219.120.125.206	80回	3回	1回	詳細	削除

一覧の詳細は以下の通りです。

登録日時	この短縮URLを登録した日時
短縮前URL	短縮する前のURL
短縮後URL	短縮されたURLと短縮URLの説明 URLの説明の後ろの(F)はフレーム表示 このURLをクリックすると短縮元が別ウィンドウで開きます。
登録IP	この短縮URLを登録した時にアクセスしたIPアドレス
累計	この短縮URLの累計アクセス数
昨日迄	この短縮URLの昨日までのアクセス数
本日	この短縮URLの本日のアクセス数
詳細	アクセスログや設定の変更を行うボタン
削除	この短縮URLを削除するボタン

グループの一覧に戻る場合は、[グループ一覧へ戻る]ボタンをクリックします。

(4) 短縮URLの削除

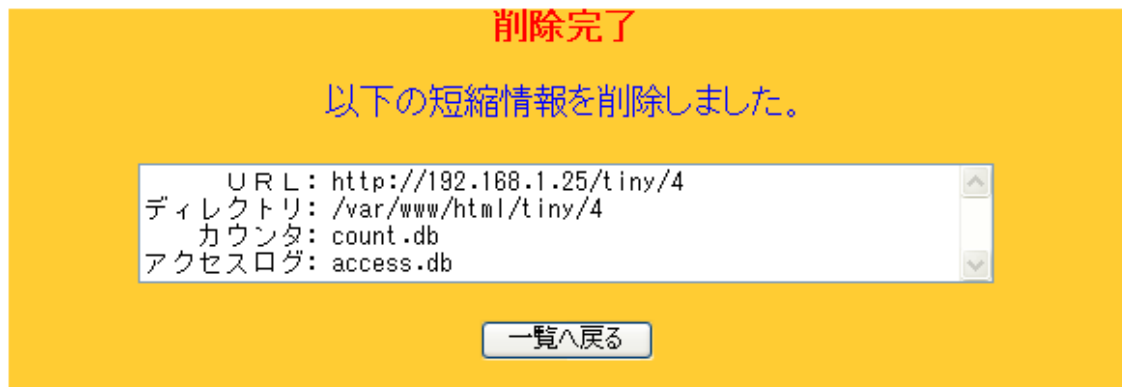
登録済短縮URL一覧(Ver.2.3)
[04:アフィリエイト4]

グローバル一覧へ戻る								
登録日時	短縮前URL	短縮後URL	登録IP	累計	昨日迄	本日		
2008-04-01 14:11:48	http://leap.raindrop.jp/sump/it/	http://leap.raindrop.jp/t/1a URL短縮ツールSUMP1	219.120.125.206	11,023回	114回	29回	詳細	削除
2008-03-28 18:10:12	http://leap.raindrop.jp/sump/is/	http://leap.raindrop.jp/t/16 URL短縮ツールSUMP2	219.120.125.206	2回	0回	0回	詳細	削除
2008-03-28 11:51:07	http://leap.raindrop.jp/sump/iu/	http://leap.raindrop.jp/t/15 URL短縮ツールSUMP3	219.120.125.206	6,701回	0回	0回	詳細	削除
2008-03-24 16:52:47	http://leap.raindrop.jp/sump/iv/	http://leap.raindrop.jp/t/e URL短縮ツールSUMP4	219.120.125.206	回	回	回	詳細	削除
2008-03-24 16:42:49	http://leap.raindrop.jp/sump/iv/	http://leap.raindrop.jp/t/c URL短縮ツールSUMP5(F)	219.120.125.206	80回	3回	1回	詳細	削除

短縮URLを削除する場合は、[削除] ボタンをクリックします。
クリックすると確認画面が表示されます。削除する場合は、[OK] ボタンをクリックします。



削除が完了すると、次の画面が表示されます。



[一覧へ戻る] ボタンをクリックすると、一覧画面に戻ります。

- (5) 短縮元のオリジナルURLの変更
- (6) 短縮URLの説明の変更
- (7) カウンターのリセット
- (8) カウンターの更新
- (9) フレーム内表示の設定
- (10) 所属グループの変更

この6つの処理は[詳細] ボタンをクリックして表示される詳細画面で行います。

登録済短縮URL一覧(Ver.2.3)
[04:アフィリエイト4]

グループ一覧へ戻る									
登録日時	短縮前URL	短縮後URL	登録IP	累計	昨日迄	本日			
2008-04-01 14:11:48	http://leap.raindrop.jp/sump/it/	http://leap.raindrop.jp/t/1a URL短縮ツールSUMP1	219.120.125.206	11,023回	114回	29回	詳細	削除	
2008-03-28 18:10:12	http://leap.raindrop.jp/sump/is/	http://leap.raindrop.jp/t/16 URL短縮ツールSUMP2	219.120.125.206	2回	0回	0回	詳細	削除	
2008-03-28 11:51:07	http://leap.raindrop.jp/sump/iu/	http://leap.raindrop.jp/t/15 URL短縮ツールSUMP3	219.120.125.206	6,701回	0回	0回	詳細	削除	
2008-03-24 16:52:47	http://leap.raindrop.jp/sump/iv/	http://leap.raindrop.jp/t/e URL短縮ツールSUMP4	219.120.125.206	回	回	回	詳細	削除	
2008-03-24 16:42:49	http://leap.raindrop.jp/sump/iv/	http://leap.raindrop.jp/t/c URL短縮ツールSUMP5(F)	219.120.125.206	80回	3回	1回	詳細	削除	

アクセス記録詳細 (最新より100件) Ver.2.3

一覧へ戻る カウンター更新 カウンタリセット ☐ 同時にログを削除

登録日時	短縮前URL	短縮後URL	登録IP	累計	前日迄	本日
2008-04-01 14:11:48	http://leap.raindrop.jp/sump/it/	http://leap.raindrop.jp/t/1a	219.120.125.206	11,024回	114回	30回
URL説明: URL短縮ツールSUMP		グループ: 04:自己商材 (5)		<input type="checkbox"/> フレーム表示 更新		

日時	アクセスIP	エージェント
2008-04-08 12:25:13	softbank220025035043.bbtec.net	Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; SV1; .NET CLR 1.1.4322) Sleipnir/2.7.0
2008-04-08 11:39:15	d37.GtokyoFL72.vectant.ne.jp	Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; SV1; .NET CLR 1.1.4322)
2008-04-08 11:38:42	d37.GtokyoFL72.vectant.ne.jp	Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; SV1; .NET CLR 1.1.4322)
2008-04-08 11:38:22	d37.GtokyoFL72.vectant.ne.jp	Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; SV1; .NET CLR 1.1.4322)
2008-04-08 11:20:01	ntngno057189.ngno.nt.adsl.ppp.infoweb.ne.jp	Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 7.0; Windows NT 6.0; SLOC1; .NET CLR 2.0.50727; Media Center PC 5.0; .NET CLR 3.0.04506)

この画面では、詳細及びアクセスログが最新から表示されます。
ログは、最新から100件のみ表示します。
tinypara.cgiの設定を変更すれば、表示される件数を変更できます。

一覧に戻る場合は、[一覧へ戻る]ボタンをクリックします。

全アクセスログを見る場合は、短縮ディレクトリに保存されている、「access.db」をダウンロードしてExcelなどで開いてください。

(5) 短縮元のオリジナルURLの変更

アクセス記録詳細 (最新より100件) Ver.2.3

[一覧へ戻る](#) [カウンター更新](#) [カウンターリセット](#) ☐ 同時にログを削除

登録日時	短縮前URL	短縮後URL	登録IP	累計	前日迄	本日
2008-04-01 14:11:48	http://leap.raindrop.jp/sump/it/	http://leap.raindrop.jp/t/1a	219.120.125.206	11,024回	114回	30回
URL説明: URL短縮ツールSUMP グループ: 04:自己商材 (5) <input type="checkbox"/> フレーム表示 更新						

短縮元のオリジナルのURLが変更になった場合は、「短縮前URL」欄のURLを変更後、[更新]ボタンをクリックします。



確認ウインドウが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。
更新後次のような画面が表示されます。

更新完了

以下の短縮情報を更新しました。

変更前URL: <http://www.google.co.jp/addurl/?continue=/addurl>
変更後URL: <http://www.google.co.jp/addurl/?continue=/addurl1>
変更前 説明: Googleサイト登録
変更後 説明: Googleサイト登録1

[一覧へ戻る](#)

一覧に戻る場合は、[一覧へ戻る]ボタンをクリックします。

(6) 短縮URLの説明の変更

アクセス記録詳細 (最新より100件) Ver.2.3

[一覧へ戻る](#) [カウンター更新](#) [カウンターリセット](#) ☐ 同時にログを削除

登録日時	短縮前URL	短縮後URL	登録IP	累計	前日迄	本日
2008-04-01 14:11:48	http://leap.raindrop.jp/sump/it/	http://leap.raindrop.jp/t/1a	219.120.125.206	11,024回	114回	30回
URL説明: URL短縮ツールSUMP グループ: 04:自己商材 (5) <input type="checkbox"/> フレーム表示 更新						

短縮URLの説明を変更する場合は、「URL説明」欄の説明を変更後、[更新]ボタンをクリックします。



確認ウインドウが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。
更新後次のような画面が表示されます。

更新完了
以下の短縮情報を更新しました。

変更前URL: <http://www.google.co.jp/addurl/?continue=/addurl>
変更後URL: <http://www.google.co.jp/addurl/?continue=/addurl1>
変更前 説明: Googleサイト登録
変更後 説明: Googleサイト登録1

[一覧へ戻る](#)

一覧に戻る場合は、[一覧へ戻る]ボタンをクリックします。

(7) カウンターのリセット

アクセス記録詳細 (最新より100件) Ver.2.3

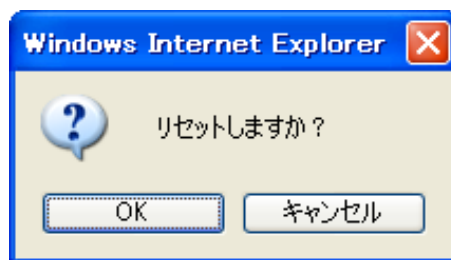
[一覧へ戻る](#) [カウンター更新](#) [カウンタリセット](#) ☐ 同時にログを削除

登録日時	短縮前URL	短縮後URL	登録IP	累計	前日迄	本日
2008-04-01 14:11:48	http://leap.raindrop.jp/sump/it/	http://leap.raindrop.jp/t/1a	219.120.125.206	11,024回	114回	30回
URL説明: URL短縮ツールSUMP グループ: 04:自己商材 (5) <input type="checkbox"/> フレーム表示 更新						

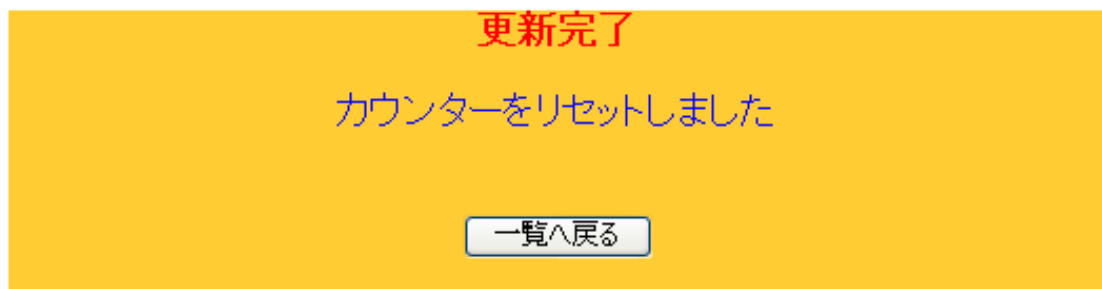
アクセスカウンタをリセットする場合は、[カウンタリセット]ボタンをクリックします。

通常は、アクセスカウンタのみがリセットされ、カウンター更新を実行するともとのアクセス回数がログから再集計されます。

ログも削除したい場合は、「**□同時にログを削除**」に、☒を入れて実行すれば、ログも同時に削除されます。



確認ウインドウが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。
リセット後、次のような画面が表示されます。



一覧に戻る場合は、[一覧へ戻る]ボタンをクリックします。

(8) カウンターの更新

アクセス記録詳細 (最新より100件) Ver.2.3

[一覧へ戻る](#) [カウンター更新](#) [カウンタリセット](#) ☐ 同時にログを削除

登録日時	短縮前URL	短縮後URL	登録IP	累計	前日迄	本日
2008-04-01 14:11:48	http://leap.raindrop.jp/sump/it/	http://leap.raindrop.jp/t/1a	219.120.125.206	11,024回	114回	30回
URL説明: URL短縮ツールSUMP グループ: 04:自己商材 (5) <input type="checkbox"/> フレーム表示 更新						

トラフィックエクスチェンジャーやリードメールを使用して、この短縮URLを紹介した場合、稀にカウンターの更新が巧く行われな場合があります。
そのような場合、[カウンター更新]を実行すると、記録されているアクセスログから再集計してカウンターの値を更新することができます。



確認ウインドウが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。
更新完了後、次のような画面が表示されます。

更新完了

カウンターを更新しました

累計:3,097回 昨日:0回 本日:0回

[一覧へ戻る](#)

一覧に戻る場合は、[一覧へ戻る]ボタンをクリックします。

(9) フレーム内表示

アクセス記録詳細(最新より100件) Ver.2.3

[一覧へ戻る](#) [カウンター更新](#) [カウンターリセット](#) ☐ 同時にログを削除

登録日時	短縮前URL	短縮後URL	登録IP	累計	前日迄	本日
2008-04-01 14:11:48	http://leap.raindrop.jp/sump/it/	http://leap.raindrop.jp/t/1a	219.120.125.206	11,024回	114回	30回
URL説明: URL短縮ツールSUMP		グループ: 04:自己商材 (5)	<input type="checkbox"/> フレーム表示 更新			

短縮元のURLをフレームを利用して表示することができます。

フレームを利用すると、最終的に表示されるURLを完全に隠すことができます。

【フレーム表示】のチェックボックスをチェックして【更新】を実行すると、短縮URLはフレーム内で表示されます。



確認ウィンドウが表示されますので、【OK】ボタンをクリックします。
更新後次のような画面が表示されます。

更新完了
以下の短縮情報を更新しました。

変更前URL: <http://www.google.co.jp/addurl/?continue=/addurl>
変更後URL: <http://www.google.co.jp/addurl/?continue=/addurl1>
変更前 説明: Googleサイト登録
変更後 説明: Googleサイト登録1

[一覧へ戻る](#)

一覧に戻る場合は、【一覧へ戻る】ボタンをクリックします。

※ご注意

アフィリエイトリンクなどでCookieを使用しているURLはフレーム内で表示すると正しくリンクしない場合があります。

フレーム設定後は、正しく表示されているか、アフィリエイトのカウンタは正常に更新されているかなどをご確認の上ご使用ください。

また、フレーム表示は、アクセス元が携帯電話の場合機能しませんのでご注意ください。

P Cブラウザ搭載の一部の携帯電話では動作する場合があります。

(10) 所属グループの変更

アクセス記録詳細 (最新より100件) Ver.2.3

[一覧へ戻る](#) [カウンター更新](#) [カウンタリセット](#) ☐ 同時にログを削除

登録日時	短縮前URL	短縮後URL	登録IP	累計	前日迄	本日
2008-04-01 14:11:48	http://leap.raindrop.jp/sump/it/	http://leap.raindrop.jp/t/1a	219.120.125.206	11,024回	114回	30回
URL説明: URL短縮ツールSUMP		グループ: 04:自己商材 (5)	<input type="checkbox"/> フレーム表示	更新		

所属するグループを変更する場合は、プルダウンメニューから変更するグループを選択して「更新」ボタンをクリックします。



確認ウインドウが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。
更新後次のような画面が表示されます。

更新完了
以下の短縮情報を更新しました。

変更前URL: <http://www.google.co.jp/addurl/?continue=/addurl>
変更後URL: <http://www.google.co.jp/addurl/?continue=/addurl1>
変更前 説明: Googleサイト登録
変更後 説明: Googleサイト登録1

[一覧へ戻る](#)

一覧に戻る場合は、「一覧へ戻る」ボタンをクリックします。

(11) サイトマップの作成

短縮グループ一覧(Ver.2.3)

URL: <http://> XXXXXXXXXX (Access from: XXXXXXXXXX)

No	グループ名	件数	累計	昨日迄	本日	
01	アフィリエイト1	11件	3,344回	1回	0回	<input type="button" value="一覧表示"/>
02	アフィリエイト2	2件	6,745回	2回	0回	<input type="button" value="一覧表示"/>
03	アフィリエイト3	4件	3,997回	3回	0回	<input type="button" value="一覧表示"/>
04	アフィリエイト4	5件	17,797回	117回	21回	<input type="button" value="一覧表示"/>
05	アフィリエイト一般	5件	9,394回	468回	73回	<input type="button" value="一覧表示"/>
06	バナー広告	2件	85回	0回	2回	<input type="button" value="一覧表示"/>
合計		29件	41,362回	591回	96回	

W3C規格準拠のサイトマップファイルを作成します【サイトマップの作成】ボタンをクリックします。

すると以下の画面が別ウィンドウで開きますので、オプションを指定して【サイトマップ作成】ボタンをクリックします。

サイトマップを作成します

サイトマップURL: <http://192.168.1.121/> ①

オプションを設定して[サイトマップ作成]をクリックしてください。
出力先: [/Inetpub/wwwroot/smap/sitemap.xml] ②
既に存在する場合は上書きされます。

③ 更新頻度: ④ 優先順位:

あなたのIP: 192.168.1.121

①作成されるサイトマップのサイトURLが表示されます。

②サイトマップファイルの出力先が表示されます。

③サイトの更新頻度

この値を参考にクローラーがサイトマップを更新します。

あくまで、クローラーがあなたのサイトを訪問する際の目安の値です。

更新頻度とは、あなたがサイトを更新する頻度と思ってください。

設定可能なオプションは以下の通りです。

随時	必要に応じて更新される
毎時	毎時更新される
毎日	毎日更新される
毎週	毎週更新される
毎月	毎月更新される
毎年	毎年更新される
更新しない	更新しません

この値は、あくまで参考でありクローラーに対するコマンドではありません。

④更新の優先順位

クローラーが訪問する際の優先順位。0.0～1.0 の間で設定します。

標準値は0.5です。

この値は、あくまで参考でありクローラーに対するコマンドではありません。

オプションの指定完了後【サイトマップ作成】ボタンをクリックします。

ほとんどの場合、デフォルトのオプションで構いません。

確認ウインドウが表示されますので、【OK】ボタンをクリックします。



更新後次のような画面が表示されます。

サイトマップ生成完了

サイトマップを生成しました。

File:[/lnetpub/wwwroot/smap/sitemap.xml]

サイトマップ生成画面に戻る

作成完了後、上記の例では、/lnetpub/wwwroot/smap/sitemap.xml
ファイルが生成されています。
あくまで、簡易サイトマップ作成機能ですので、フィルタリングの設定などは
できません。
内容は、

```
-----
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<urlset xmlns="http://www.sitemaps.org/schemas/sitemap/0.9">
<url>
<loc>http://192.168.1.121/20070819/index.htm</loc>
<lastmod>2007-08-19T13:42:40+09:00</lastmod>
<changefreq>always</changefreq>
<priority>0.5</priority>
</url>
.
.
.
</urlset>
-----
```

という内容になっています。
この中にコメントを入れたい場合は、
[<!-- ここにコメントを記述 -->](#)
という書式で記述します。HTMLのコメントと同じです。

生成されたサイトマップファイルをFTPソフトでサイトのトップディレクトリ
にコピーして使用してください。
また、利用方法は、Google/Yahoo!/MSNなどの検索エンジンのHPをご覧ください。

参考資料

```
#-----  
# サイトマップサンプル  
# sitemap.xml  
#-----  
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  
<urlset xmlns="http://www.sitemaps.org/schemas/sitemap/0.9">  
  <url>  
    <loc>http://www.example.com/</loc>  
    <lastmod>2005-01-01</lastmod>  
    <changefreq>monthly</changefreq>  
    <priority>0.8</priority>  
  </url>  
</urlset>
```

```
#-----  
# XML タグ定義  
#-----
```

<urlset>	必須	現在使用しているプロトコルのバージョン。 書式: "<urlset>~</urlset>"
<url>	必須	URLの親タグ 書式: "<url>~</url>"
<loc>	必須	マップに登録する"http://"から始まるURLで ファイルが無い場合"/"で閉じている必要がある。 最大で2048バイトまで。 書式: "<loc>~</loc>"
<lastmod>	オプション	ファイルの最終更新日付。 "YYYY-MM-DD"(W3C Datetime書式)の書式 になっている必要がある。 書式: "<lastmod>~</lastmod>"

<changefreq> オプション ページの更新頻度。この値を参考にクローラーがサイトマップを更新します
書式：“<changefreq>～</changefreq>”

設定値	説明
-----	-----
always	随時
hourly	毎時
daily	毎日
weekly	毎週
monthly	毎月
yearly	毎年
never	更新しない

この値は、あくまで参考でありコマンドではありません。

<priority> オプション クローラーが訪問する際の優先順位。
0.0～1.0 の間で設定します。
標準値は、0.5
この値は、あくまで参考の相対値ですので、クローラーが設定通りに振舞うかは不明。
書式：“<priority>～</priority>”

コメントを入れる場合は、“<!-- ここにコメント -->”の書式で書きます。

(12) アクセス数集計

短縮グループ一覧(Ver.2.3)

URL: <http://> XXXXXXXXXX (Access from: XXXXXXXXXX)

No	グループ名	件数	累計	昨日迄	本日	
01	アフィリエイト1	11件	3,344回	1回	0回	<input type="button" value="一覧表示"/>
02	アフィリエイト2	2件	6,745回	2回	0回	<input type="button" value="一覧表示"/>
03	アフィリエイト3	4件	3,997回	3回	0回	<input type="button" value="一覧表示"/>
04	アフィリエイト4	5件	17,797回	117回	21回	<input type="button" value="一覧表示"/>
05	アフィリエイト一般	5件	9,394回	468回	73回	<input type="button" value="一覧表示"/>
06	バナー広告	2件	85回	0回	2回	<input type="button" value="一覧表示"/>
合計		29件	41,362回	591回	96回	

[アクセス数集計]ボタンをクリックすると、記録されているアクセスログから、日別・時間帯別・エージェント別の集計を行うことができます。
ボタンをクリックすると次の画面が表示されます。

アクセス数集計(Ver.2.3)

指定した期間のアクセス数を集計します。

集計期間

2009 年 2 月 7 日 ~ 2009 年 2 月 13 日まで
☒ 日 ☒ 月 ☒ 火 ☒ 水 ☒ 木 ☒ 金 ☒ 土

集計方法

☒ 全体
☐ グループ別
☐ 短縮別

集計内容

☒ 日付別 ☒ 時間帯別 ☒ エージェント別
☐ 同時にカウンターを更新

設定する項目は、「集計期間」「集計方法」「集計内容」の3つです。

①集計期間

集計期間													
2008	年	5	月	1	日	～	2008	年	5	月	7	日	まで
<input checked="" type="checkbox"/>	日	<input checked="" type="checkbox"/>	月	<input checked="" type="checkbox"/>	火	<input checked="" type="checkbox"/>	水	<input checked="" type="checkbox"/>	木	<input checked="" type="checkbox"/>	金	<input checked="" type="checkbox"/>	土

ログを集計する期間と集計する曜日を指定します。

初期値は、本日より1週間前までです。

指定した期間の中で、特定の曜日だけを集計する場合は、必要のない曜日の

☒チェックを外します。

②集計方法

集計方法	
<input checked="" type="radio"/> 全体	
<input type="radio"/> グループ別	01:アフィリエイトグループ01 (12) ▼
<input type="radio"/> 短縮別	01:アフィリエイト商品A(4) ▼

集計方法は、3つあります。

集計する方法を選択します。

1.全体

登録されている、全短縮URLのアクセスログを集計します。

2.グループ別

グループ分けされた、短縮URLのアクセスログを集計します。

一覧から集計するグループ名を選択してください。

グループ名の最後の()内の数字は、グループに登録されている短縮の数です。

3.短縮別

短縮URL個別のアクセスログを集計します。

一覧から集計する短縮名を選択してください。

短縮名の最後の()内の記号は、短縮名を表示しています。

③集計内容

集計内容
<input checked="" type="checkbox"/> 日付別 <input checked="" type="checkbox"/> 時間帯別 <input checked="" type="checkbox"/> エージェント別

集計内容は、3つあります。
必要な項目を☒チェックします。

1.日付別

アクセスログから、日付別にアクセス回数を集計します。

2.時間帯別

アクセスログから、時間帯別にアクセス回数を集計します。

3.エージェント別

アクセスログから、エージェント別にアクセス回数を集計します。

全ての設定が完了したら、[集計開始]ボタンをクリックすると確認画面が表示されますので、集計する場合は[OK]ボタンをクリックします。
この時に、「☐同時にカウンターを更新」に☒を入れて実行すると、リードメールやトラフィックエクスチェンジなどの利用で、カウンター値がくるってしまった場合にログからカウンターを再集計します。



集計時間は、アクセスログの件数とサーバーの能力によって変化します。

④集計結果

集計が完了すると以下の画面が表示されます。

◆日付別集計結果◆

日付	アクセス数	
2008-05-01(木)	2,466	<div></div>
2008-05-02(金)	2,062	<div></div>
2008-05-03(土)	4,332	<div></div>
2008-05-04(日)	2,951	<div></div>
2008-05-05(月)	1,372	<div></div>
2008-05-06(火)	1,031	<div></div>
2008-05-07(水)	6,661	<div></div>
合計	20,875	

日付別にアクセス数が集計されて表示されます。

◆時間帯別集計結果◆

時間帯	アクセス数	
00時	771	<div></div>
01時	703	<div></div>
02時	394	<div></div>
03時	301	<div></div>
04時	239	<div></div>
05時	311	<div></div>
06時	346	<div></div>
07時	397	<div></div>
08時	498	<div></div>
09時	563	<div></div>
10時	574	<div></div>
11時	593	<div></div>
12時	710	<div></div>
13時	763	<div></div>
14時	1,819	<div></div>
15時	1,426	<div></div>
16時	1,165	<div></div>
17時	1,121	<div></div>
18時	1,104	<div></div>
19時	915	<div></div>
20時	896	<div></div>
21時	2,328	<div></div>
22時	1,733	<div></div>
23時	1,205	<div></div>
合計	20,875	

時間帯別にアクセス数が集計されて表示されます。

グラフはあくまで目安です。
表示されているグラフの最大値を100として、その値に対する比率でグラフを構成しています。
極端に、比率が小さいデータはグラフの表示がない場合もあります。

◆エージェント別集計結果◆	
アクセス数	エージェント
10,136	MSIE 6.0
5,333	MSIE 7.0
2,661	Firefox/2
1,115	Sleipnir/2(compatible MSIE 6.0)
682	Sleipnir/2(compatible MSIE 7.0)
255	Safari
164	Opera
161	Gecko
77	MSIE 5
61	Sleipnir Version 1.42
49	Netscape
38	Opera(compatible MSIE 6.0)
33	Mozilla/4.0 (compatible;)
15	Mozilla/5.0 (000000000; 0; 00000 000 00 0 0000000; 00000) 00000000000000000000 0000000 0000 000000

エージェント(ブラウザ)別のアクセス数が集計されて表示されます。

4.その他の機能

①登録されるデータについて

SUMPでは、登録されたURLやアクセスログはプログラムから表示するだけでなく、サーバーからダウンロードして使用可能です。

設置で作成した「tiny」ディレクトリ内には、
「tinylst.db」「tinyurl.db」「tinygrp.db」の3つのファイルが存在します。

- | | |
|-------------------|---|
| tinylst.db | 登録された短縮URL数を16進で格納したファイル
これは編集しないでください。 |
| tinyurl.db | 登録済みの一覧データ
このファイルをダウンロードしてExcelなどから利用できます。 |
| tinygrp.db | グループデータ
このファイルをダウンロードしてExcelなどから利用できます。
また、ノートパッドなどで編集すれば、グループの追加・削除が可能です。できる限り変更はしないでください。 |

「tinyurl.db」の形式は、

短縮前のURL，短縮URLのフォルダ名，URLの説明，登録日，登録時間，IPアドレス，登録時に使用したブラウザのエージェント情報,フレームの有無,グループ

という形式で、”,”カンマ区切りで1行毎に格納されています。
ダウンロードして、拡張子をCSVなどに変更すれば、Excelから自動でデータとして認識され開くことができます。

また、「tiny」ディレクトリ内に生成された、短縮ディレクトリ内には、
「index.cgi」「access.db」「count.db」次の3つのファイルがあります。

「index.cgi」「count.db」の2つは編集しないでください。

index.cgi	短縮URLとして呼び出されるCGI
access.db	短縮URLのアクセスログ
count.db	短縮URLのアクセスカウンタ

「access.db」の形式は、
アクセス日付，アクセス時間，アクセスIP，アクセスブラウザのエージェント情報,リファラー

という形式で、","カンマ区切りで1行毎に格納されています。
ダウンロードして、拡張子をCSVなどに変更すれば、Excelから自動でデータとして認識され開くことができます。

②直接SUMPの設定を変更する場合の補足説明

SUMP動作環境の設定

tiny_setup.cgiが生成した2つのファイル

tinypara.cgi

smmap_para.cgi

を直接編集することで、動作環境を変更することができます。

あなたのサーバーの環境に合わせて、CGIに定義されている内容を変更します。
ここで設定する内容は、SUMPを設置運用する上で重要な項目ですので、1つずつ間違えないように注意して設定してください。

●tinypara.cgiの変更内容(SUMP動作に必要な設定)

- (1)サーバーのPerlパス
- (2)db設置場所
- (3)短縮作成場所
- (4)短縮時のドメイン
- (5)index.cgi 参照ライブラリパス
- (6)tinyedit.cgi パスワード
- (7)除外IP
- (8)アクセスIPをホスト名に置換
- (9)tiny.cgiに対するアクセス制限
- (10)tinyedit.cgiに対するアクセス制限
- (11)除外Agent
- (12)アクセスログの表示件数
- (13)基本ブラウザ判定
- (14)集計するブラウザ
- (15)エージェント及びHTTPリファラー
- (16)HTTPリファラーのパラメータの表示

まず、「tinypara.cgi」をお持ちのテキストエディタ(Notepadで十分です)で開きます。

開くと、以下のようになっています。1つずつ順に説明します。

```
#-----  
# (1)サーバーのPerlパス  
# 各プロバイダで指定されているPerlのパスを記述します。  
# 設定初期値はLinuxの一般的なパスを設定しています。  
#-----  
$perl_pass = "/usr/bin/perl";
```

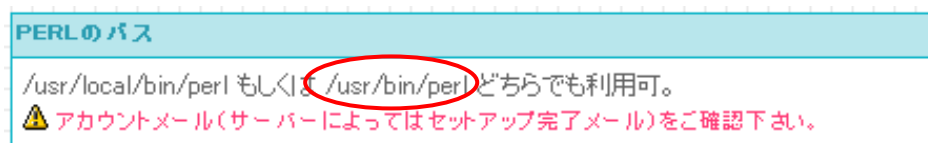
サーバーで実行されるPerlのパスを設定します。
初期値は「`/usr/bin/perl`」になっていますが、ご契約のサーバーのQ & Aなどでパスを確認して書き換えてください。

確認方法

ロリポップレンタルサーバー 上記の設定で構いません。

<http://lolipop.jp/?mode=manual&state=hp&state2=cgi>

このHELPを開くと以下のように表示されます。



さくらレンタルサーバー 上記の設定で構いません。

- 1.[会員メニュー]→[契約情報]を選択
- 2.[契約情報]→[サーバー設定]を選択
- 3.[サーバー情報の表示]→[サーバーに関する情報]を選択

* 各種コマンドパス一覧 *

コマンド名	コマンドパス	バージョン
Perl 5.8	<u>/usr/bin/perl</u>	5.8.8
Perl 5	/usr/bin/perl5	5.8.8

ほとんどの場合(特に UNIX/Linux 系)、この設定は同じです。

```
#-----  
# (2)db設置場所  
# 各プロバイダで指定されているWEBフォルダの絶対パスに続けて、  
# 短縮ディレクトリを作成するディレクトリをを指定します。  
# 設定初期値はLinuxの一般的なパスを設定しています。  
#-----  
$db_dir          = "/var/www/html/tiny";
```

短縮されたURLの一覧のデータを格納する場所のパスを指定します。

ロリポップレンタルサーバーの場合

[/home/sites/lolipop.jp/users/<ドメイン>-<アカウント>/web/tiny](#)

さくらレンタルサーバーの場合

[/home/アカウント名/www/tiny](#)

エックスサーバーの場合

[<ドメイン>/public_html/tiny](#)

となります。

最後の「tiny」を別の名前にした場合は書き換えてください。

```
#-----  
# (3)短縮作成場所  
# 各プロバイダで指定されているWEBフォルダの絶対パスに続けて、  
# 短縮ディレクトリを作成するディレクトリをを指定します。  
# 基本的に(2)と同じ値を設定します。このままで構いません。  
#-----  
$tiny_dir        = "$db_dir";
```

この設定は、基本的に(2)と同じになりますので、このままで構いません。


```
#-----
# (4)短縮時のドメイン
# URLを短縮した際に使用するドメインを指定します。
# <~>の部分をあなたのドメインに変更します。
#-----
$domain          = "http://<あなたのドメイン>/tiny";
```

実際に使用する短縮名の基本となります。

<あなたのドメイン>の部分を、あなたがお使いのドメイン名「www.abc.jp」などに書き換えます。

最後の「tiny」を別の名前にした場合は書き換えてください。

仮に、あなたのホームページのドメイン名が「www.abc.jp」であれば、

<http://www.abc.jp/tiny> となります。

最後の「tiny」を別の名前にした場合は書き換えてください。

```
#-----
# (5)index.cgi 参照ライブラリパス
# 各短縮ディレクトリ内に生成されるindex.cgiから参照される
# ライブラリの絶対パスを指定します。
# このファイル(tinylib.cgi)が存在するディレクトリの絶対パスになります。
#-----
$indlib          = "/var/www/html";
```

各cgiで使用する共通のライブラリの設置場所を絶対パスで指定します。

今書き換えているtinypara.cgiと同じ場所のパスを設定します。

短縮されたURLの一覧のデータを格納する場所のパスを指定します。

基本的に(2)と同じで構いません。

ロリポップレンタルサーバーの場合

[/home/sites/lolipop.jp/users/<ドメイン><アカウント>/web/tiny](#)

さくらレンタルサーバーの場合

[/home/アカウント名/www/tiny](#)

エックスサーバーの場合

[<ドメイン>/public_html/tiny](#)

となります。

最後の「tiny」を別の名前にした場合は書き換えてください。

```
#-----  
# (6)tinyedit.cgi パスワード  
# tinyedit.cgiを実行する際に確認するパスワード  
#-----  
$usr_pass          = "password";
```

設定した短縮URLの管理プログラム(tinyedit.cgi)を起動する際に使用するパスワードです。

文字数に制限はありません。初期値は「password」になっていますので、適宜変更してください。

```
#-----  
# (7)除外 IP  
# index.cgi 実行時に除外する IP  
# 複数ある場合は、,(カンマ)で区切って指定してください  
# 例: "192.168.1.1,192.168.1.2"  
#-----  
@reject_ip         = ("");
```

生成した、短縮 URL を確認する際に、作成者本人が確認した際でもアクセス回数やログが残ってしまいます。

しかし、自分でアクセスした回数やログを残したくない場合に設定します。

例えば、短縮 URL を登録した際に表示されている「登録 IP」が「192.168.1.10」だったとすると、

```
@reject_ip         = ("192.168.1.10");
```

という様に設定すると、192.168.1.10 からのアクセスは記録されません。

複数の IP からのアクセスを記録したくない場合は、カンマ(,)で区切って複数指定することができます。

登録件数に制限はありません。

但し、あまり多くの IP を設定すると、チェックに時間が掛かり反応が悪くなりますのでご注意ください。

複数ある場合は、

```
@reject_ip         = ("192.168.1.10","192.168.1.11","192.168.1.12");
```

という様に記述します。

```
#-----  
# (8)アクセス IP をホスト名に置換  
# アクセス元の IP をホスト名に置換します  
# 0:置換しない 1:置換する  
#-----  
$Sch_host      = 1;
```

取得した、アクセス元の IP アドレスをホスト名に置換します。
但し、アクセス元がホスト名を返さない場合は IP アドレスのままになります。
変換したくない場合は、
\$Sch_host = 0;
に設定してください。

```
#-----  
# (9)tiny.cgiに対するアクセス制限  
# 指定したIP以外のアクセスを禁止します  
# 複数ある場合は、,(カンマ)で区切って指定してください  
# 例: "192.168.1.1","192.168.1.2"  
#-----  
@permit1      =( "");
```

指定した、IPアドレス以外から、tiny.cgiにアクセスすることを禁止します。
つまり、指定したIPからのみアクセスができることを意味します。
固定IPアドレスをお持ちの場合のみ設定可能です。
ダイヤルアップ接続・PPP接続などで、接続毎にIPアドレスが変更になる接続
の場合は使用できません。ブランクのままご使用ください。
また、固定IPでルーターをご使用の場合は、ルーターのIPアドレスを設定してく
ださい。確認の方法は、ルーターの説明書をご覧ください。

複数の場所からアクセスする場合は、カンマで区切ってIPアドレスを記述してく
ださい。
@ permit1 = ("192.168.1.10","192.168.1.11","192.168.1.12");
という様に記述します。

```
#-----  
# (10) tinyedit.cgiに対するアクセス制限  
# 指定したIP以外のアクセスを禁止します  
# 複数ある場合は、,(カンマ)で区切って指定してください  
# 例: "192.168.1.1","192.168.1.2"  
#-----  
@permit2    = ("");
```

指定した、IPアドレス以外から、tinyedit.cgiにアクセスすることを禁止します。
つまり、指定したIPからのみアクセスができることを意味します。
固定IPアドレスをお持ちの場合のみ設定可能です。
ダイヤルアップ接続・PPP接続などで、接続毎にIPアドレスが変更になる接続
の場合は使用できません。ブランクのままご使用ください。
また、固定IPでルーターをご使用の場合は、ルーターのIPアドレスを設定してく
ださい。確認の方法は、ルーターの説明書をご覧ください。

複数の場所からアクセスする場合は、カンマで区切ってIPアドレスを記述してく
ださい。

```
@ permit2    = ("192.168.1.10","192.168.1.11","192.168.1.12");
```

(9)(10)を両方設定すると、SUMP(短縮作成・管理)は外部からは一切使用で
きなくなります。

短縮URL作成画面は公開したい場合は、(9)の設定は、""(ブランク)のままで運
用してください。

```
#-----
# (11)除外Agent
# index.cgi実行時に記録から除外するAgent
# Botなどのアクセス記録を除外することができます
# 複数ある場合は、,(カンマ)で区切って指定してください
# 例: "Yeti/1.0 (+http://help.naver.com/robots/)"
# 特徴的な部分のみ指定することもできます
#-----
@reject_agt = ("Googlebot/", # Google Bot
               "Yeti/",      # 韓国NAVERのBot
               "psbot/",     # http://www.picsearch.com
               "Baiduspider+", # 百度
               "Yahoo! Slurp", # Yahoo Bot
               "msnbot");     # MSN Bot
```

index.cgi実行時に、アクセスしてきた相手がボット(サーチエンジン)の場合に、設定されたボットのアクセス記録を残さないように設定可能です。
 初期設定では、6つのボットを記録しないようにしていますが、ボットの記録も必要な場合は設定を""(ブランク)にしてください。

また、適切なエージェント名を設定すれば、IEのアクセスだけを記録しないなどの応用も可能です。

```
#-----
# (12)アクセスログの表示件数
# 詳細ログを表示する際の最大表示件数
# 0を指定すると全件表示
#-----
$view_c      = 100;
```

詳細ログを表示した時に表示されるログの件数を設定します。
 0を設定すると全てのログが表示されます。

```
#-----
# (13)基本ブラウザ判定
# エージェント別に集計する際の基本となるブラウザの設定
# InternetExplorerとのコンパチブルを判定します。
# 複数ある場合は、,(カンマ)で区切って指定してください
# 1つずつ""で囲ってください
# 例: "MSIE 5","MSIE 6.0","MSIE 7.0"
#-----
```

```
@iecomp      = ("MSIE 5","MSIE 6.0","MSIE 7.0");
```

アクセス数を集計する際、アクセスエージェントを集計する前段階として、インターネットエクスプローラーとの互換性を判定します。

```
#-----
# (14)集計するブラウザ
# 設定されたブラウザ名で集計します。
# InternetExplorerは設定する必要はありません。
# 複数ある場合は、,(カンマ)で区切って指定してください
# 1つずつ""で囲ってください
# 例: "Sleipnir/2","Opera","NetFront","Safari","Firefox/2"
#-----
```

```
@browser      =
("Sleipnir/2","Opera","NetFront","Safari","Firefox/2","Netscape","SeaMonkey",
"BonEcho","Iolifox","Minefield","Iceweasel","Python-urllib","Wget",
"WordPress","Gecko","UP.Browser/6","DoCoMo/1","DoCoMo/2","jig browser",
"PLAYSTATION 3","PlayStation Portable");
```

(13)で互換性を判定後、様々なブラウザを判定後、ブラウザ毎に集計します。

```
#-----  
# (15) エージェント及びHTTPリファラー  
# 明細に表示する項目を指定します。  
# 0:エージェント 1:リファラー(リンク元) 2:両方表示  
#-----  
$agent = 1;
```

アクセスログの表示に関する設定です。
アクセスログには、ブラウザエージェントとリファラー(短縮URLのアクセス元)を記録しています。
表示する内容を選択できます。
“エージェントのみ”、“リファラーのみ”、“両方を表示”から選択します。

```
#-----  
# (16) HTTPリファラーのパラメータの表示  
# ?以降のCGI等のパラメータの表示方法を指定します。  
# 0:表示する 1:表示しない  
#-----  
$v_para = 1;
```

短縮URLをリードメールなどで使用する場合は、リファラーに複数のパラメータが付随して記録されます。
パラメータの表示が必要ない場合は、“表示しない”を選択します。

(1)～(16)の設定が完了したら、[ファイル]→[上書き保存]で、更新したデータを登録します。

※ご注意ください

tinypara.cgi の最終行の、「1;」は絶対に削除しないようにしてください。
削除すると cgi エラーになります。

サイトマップ作成機能の設定

あなたのサーバーの環境に合わせて、CGIに定義されている内容を変更します。
ここで設定する内容は、後述のサイトマップ作成機能を利用する上で必要な設定です。

サイトマップを使用しない方は、特に設定する必要はありません。

また、この機能はSEO対策で使用する機能ですので、SUMPの動作とは一切関連しません。

但し、SUMPが正常動作できる設定は完了している必要があります。

また、SUMP設置サーバー以外のサーバーのサイトマップを作成する機能はありません。

●smap_para.cgiの変更内容

- (1)GMTとの時差
- (2)サイトマップ作成URL
- (3)サイトマップサーチディレクトリ
- (4)出力サイトマップ名
- (5)検索ファイル名
- (6)検索拡張子

まず、「smap_para.cgi」をお持ちのテキストエディタ(Notepadで十分です)で開きます。

開くと、以下のようになっています。1つずつ順に説明します。

```
#-----  
# (1)GMT との時差  
# 海外のサーバーに設置するときは、  
# グリニッジ標準時とその地方の時差を設定  
#-----  
$JST = "09:00";
```

サイトマップを作成するときに記録されている時間が、グリニッジ世界標準時との時差を持っている場合に設定する項目です。

海外のサーバーに設置する場合は、その国の時差を“HH:MM”形式で指定します。

日本に設置される場合は、日本の時差は9時間ですので、設定の変更は必要ありません。

```
#-----  
# (2) サイトマップ作成URL  
# サイトマップを作成するURL  
#-----  
$smap_url = "http://<あなたのドメイン>/"
```

実際に使用する短縮名の基本となります。

<あなたのドメイン>の部分、あなたがお使いのドメイン名「www.abc.jp」などに書き換えます。

仮に、あなたのホームページのドメイン名が「www.abc.jp」であれば、<http://www.abc.jp/>となります。

最後の"/" (スラッシュ) を忘れずに記述してください。

```
#-----  
# (3) サイトマップサーチディレクトリ  
# サーバーのhtml格納場所  
#-----  
$smap_dir = ""
```

サイトマップを作成する際のWWWディレクトリのパスを指定します。

ロリポップレンタルサーバーの場合

</home/sites/lolipop.jp/users/<ドメイン>-<アカウント>/web/>

さくらレンタルサーバーの場合

</home/アカウント名/www/>

エックスサーバーの場合

[<ドメイン>/public_html/](/<ドメイン>/public_html/)

となります。

最後の"/" (スラッシュ) を忘れずに記述してください。

```
#-----  
# (4)出力サイトマップ名  
# 出力するサイトマップの名前  
#-----  
$smap_name = "sitemap.xml";
```

出力するサイトマップの名前を指定します。

このままで構いません。

(3)サイトマップサーチディレクトリで指定したディレクトリ直下に「smap」というフォルダが自動で生成されて、その中にサイトマップが格納されます。

```
#-----  
# (5)検索ファイル名  
# サイトマップを作成するファイル名(拡張子を除く)  
# 複数ある場合は、,(カンマ)で区切って指定します。  
# 1つずつ""で囲ってください  
# 例: "index","index2"  
# 指定しない場合は全てが検索対象となります。  
#-----  
@smap_file = ("");
```

サイトマップを作成する際に、対象となるファイル名の名前の部分のみを指定します。(htmlなどの拡張子を除く)

ファイル名は、一般的に xxxx.yyy という形式で記述されます。

xxxxの部分ファイルを、yyyの部分拡張子と呼びます。

サイトマップには、一般的に、index.htmなどのサイトのトップページを表示するファイルを記述します。

例えば、indexのみを指定する場合は、

```
@smap_file = ("index");
```

と記述し、indexとdefaultを指定するのであれば、

```
@smap_file = ("index"," default ");
```

と記述します。

全てのファイルをサイトマップに記述する場合は、何も指定しなくて構いません。

※ご注意

Windowsサーバーでは、大文字・小文字の区別はありませんが、一般的なUNIXやLinuxサーバーでは、大文字・小文字を区別します。

仮に、index と Index や INDEX の様に大文字・小文字が混在する場合は、

```
@smap_file = ("index","Index","INDEX");
```

のように全て記述する必要があります。

5.最後に

SUMPIは最小限の時間で設置でき、かつ、ほとんど全てのサーバーで動作するように作成されています。

サーバー側で、CGIを許可していない・CGIからの書き込みを許可していない場合は動作しません。

SUMPIは全てPerlで記述されています。

多少Perlが分かる方であれば、自由に変更して機能を追加できます。

また、現バージョンはどなたでも簡単に設置できることを前提として作成しているためデータベースを使用していませんが、テキストベースで管理しているデータをMySQLなどのデータベースに変更して、大規模で高速な環境を構築することもできます。

ここで、1つSUMPIの有効的な使い方を1つ紹介しておきます。

リードメールや独占広告など、配信した後からURLを変更したい場合がありますが、SUMPIで短縮したURLを広告していれば、管理画面から配信URLが変更できます。

また、トラフィックエクスチェンジなどは、登録したURLを変更すると、再度承認待ちになりますが、SUMPIのURLであれば、承認なしに変更できます。

SUMPIは、十分にテストを行っていますが、万が一、設置したが動かない、動作がおかしいなどの現象が発生した場合は、ご連絡ください。

できる限り早急に対処させていただきます。

ご購入いただいた方は、
バージョンアップの際は無償で提供させていただきます。

最新版は、

<http://leap.raindrop.jp/t/1d>

に置いてありますのでご自由にダウンロードしてください。

メジャーバージョンアップで大幅な機能変更があった場合は、差額をお支払い

いただく場合もあるかもしれませんが、基本的には無償で提供したいと思っています。

お問い合わせは、
leap@ke.raindrop.jp

まで、メールでご連絡ください。

また、ベクターシェアレジでご購入戴いた方は、作者には全くどなたがご購入戴いたかは分かりません。

最新版のお知らせなどが必要な方はメールで、お名前・メールアドレスをお知らせください。

タイトル：SUMP Ver.2.4 ユーザー登録

本文：

お名前：

メール：

SUMPバージョン：2.4

のような書式でお送りください。

できる限り早急にご返答致しますが、2・3日経っても返答がない場合は、お手数ですが再度ご連絡いただけると助かります。

興梠 卓也